イタマール・ヴィエイラ・ジュニオール氏 講演会

※ポルトガル語、日本語通訳あり

過去を鋤く

Arando o passado: a perspectiva da literatura decolonial

脱植民地化したブラジル文学

日時：4月17日（月）
9:30～10:50

会場：833教室（8号館3階）

対象：本学教職員、学生





日本語訳刊行記念

TORTO ARADO

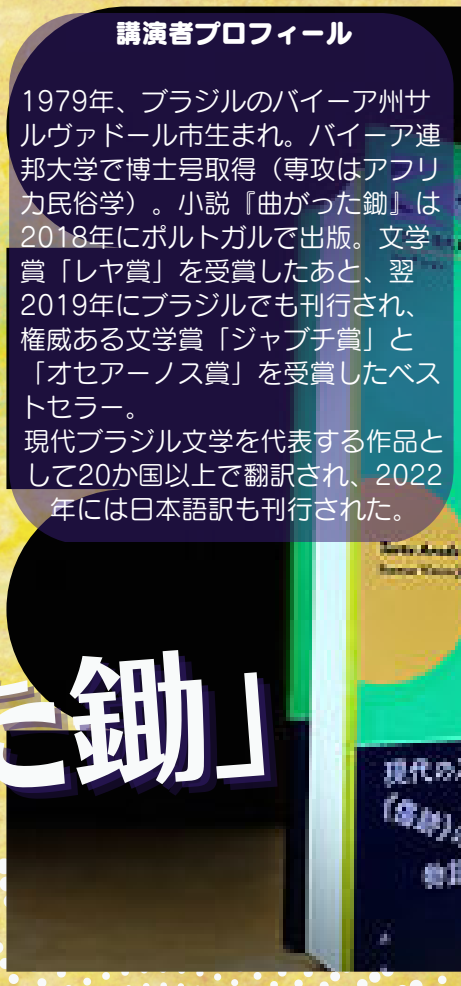
ブラジル独立200周年を迎えた2022年
ブラジル現代文学コレクション（水声社）の一冊



「曲がった鋤」

日本語訳：武田千香・江口佳子

写真：在名古屋ブラジル総領事館提供



講演者プロフィール

1979年、ブラジルのバイーア州サルヴァドール市生まれ。バイーア連邦大学で博士号取得（専攻はアフリカ民俗学）。小説『曲がった鋤』は2018年にポルトガルで出版。文学賞「レヤ賞」を受賞したあと、翌2019年にブラジルでも刊行され、権威ある文学賞「ジャブチ賞」と「オセアーノス賞」を受賞したベストセラー。
現代ブラジル文学を代表する作品として20か国以上で翻訳され、2022年には日本語訳も刊行された。

CONSULADO-GERAL DO BRASIL NAGOIA

IGR Instituto Guimarães Rosa

PAX MUNDI PER LINGUAS

京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies
京都外国語短期大学
Kyoto Junior College of Foreign Languages

共催：京都外国語大学ブラジルポルトガル語学科、在名古屋ブラジル総領事館